

住みやすい町づくり～理想の町を考えよう～

21

所 属	弥富市立弥富北中学校	実践者	坂口 ひとみ
対 象	中学校 1 年生 (131 名)	実践日	2023 年 4 月～9 月, 11 月～12 月
実践教科	総合的な学習の時間	時間数	11 時間
ねらい	・「多様性」「豊かな社会」「ごみ問題」「防災」「福祉」などの視点から、みんなが住みやすい「理想の町」を考える。 ・世界にはいろいろな人が暮らしていることを知り、それらの人々の立場に立って生活をイメージし、みんなが住みやすい町にするには何が必要かを考える。		
実践内容	回	プログラム	備 考
	1	◆豊かな世界にとって大切なこととは？【ランキング】 ・「豊かな世界にとって大切なこと」を考え、その中から特に大切なものを3つ選ぶ。 ・日本の子どもたちにとって大切なこと、社会的弱者にとって大切なことなど、異なる立場から「豊かな世界」の在り方を考える。	ワークシート
	2	◆ちがいのちがいの多様性について考えよう【対比法】 ・カードに記された内容をあてい違い、あてはいけな違いに分類し、それらについて考える。	「世界一大きな授業 2019」資料より
	3	◆POIゲームで、ごみの分別を考えよう ・カードゲームを通して、ごみの分別についての課題を探す。	POI カード(アークライト) 半模造紙・ペン
	4	◆津波が起きたらどうなる？ ・津波が発生したのち、何が起ころのかを考える。【派生図】 ・自分の命を守るための行動を考える。	ワークシート
	5	◆もし学校が避難所になったら・・・ ・学校に避難してきた様々な人たちを、グループのメンバーと協力して避難誘導する。 ・災害時に、自分たちにできることは何かを考える。	教材「避難誘導に協力しよう」(防災教育普及協会) 校内見取り図
	6	◆お年寄りや障がいのある人たちについて知ろう ・福祉実践教室で、手話・車いす体験・点訳・音訳・高齢者疑似体験・視覚障がい者ガイドヘルプのうち1つを体験し、障がいがある人が、日ごろの生活のどのような点でのサポートを必要としているかを知る。	弥富市の社会福祉協議会を通じて、講師の方をお招きした。
	7	◇住みやすい町づくり～理想の町を考えよう～ ・これまでの学びを踏まえて、個人で理想の町を考え、企画書にまとめる。	ワークシート
	8～10	◇みんなで案を出し合って、モデルタウンを作成しよう！【ブレーンストーミング】 ・各自の企画書をもとに、グループで意見を出し合い、1つのモデルタウンを提案する。	模造紙・ペン
	11	◇グループで考えた「理想の町」をポスターセッション形式で発表する。	
成 果	さまざまな人たちの立場に立って、日常生活の過ごしやすさを追求した町づくりのアイデアを出したことで、これまで学んだことをより現実的に捉えることができた。		
課 題	今回は、実現可能かどうかということより、自由にアイデアを出し合うことを優先した。しかし今後は、世界の問題についてもっと深く考える授業を重ねることで、さらに現実的な理想の世界を思い描けるようにしていきたい。		
備 考	これまでの総合的な学習の時間での学びを振り返ることができるような掲示物を廊下に掲示した。		